

変形性膝関節症 関節リウマチ スポーツ障害



膝関節専門外来

膝関節は、歩く、座るなどの日常動作に大切な関節です。加齢による変形、外傷などにより、軟骨、靭帯、半月板等が損傷されますが、これをできる限り痛みを取り、日常生活に復帰できるように治療します。

診療日：月曜日（9:00～12:00 予約制）

担当医：青盛 克裕 医師

日本整形外科学会専門医、認定スポーツ医、リウマチ医

日本リウマチ学会専門医

日本リハビリテーション学会認定医

人工膝関節手術の執刀実績は200例を超え、その他の手術経験も豊富です。

また、一部の手術には京都府立医科大学整形外科より医師を派遣いただいています。

是非、整形外科外来を受診の上ご相談下さい。

変形性膝関節症は、年齢とともに膝関節の関節軟骨がすり減って、膝の痛みと変形がくる病気です。女性に多く、65歳以上の方の約20%にあるといれ、原因は関節軟骨の老化と考えられます。

治療には保存療法（手術をしない治療法）と手術療法があります。比較的初期の変形の軽い時は保存療法で痛みをコントロールできますが、進行すると手術を受けた方がよい場合が多くなります。



単顆型（片側型）
人工膝関節術前

術後



人工膝関節術前

術後